

中小企業向けリスク対策セミナーを開催

～リスク対策を理解して経営環境の変化に備える方法を第一線で活躍する専門家が解説～

日本損害保険協会中国支部（委員長：谷口 徹・損害保険ジャパン株式会社 広島支店長）は、2月13日（月）に、中小企業を取り巻くリスクを考えるセミナーを開催し、約90人（会場参加：約30人、オンライン参加：約60人）が参加しました。

新型コロナウイルス感染症、労務管理（パワハラ・セクハラ）やサイバー犯罪など中小企業を取り巻くリスクはさまざまです。そこで、中小企業を取り巻く様々なリスクへの対応策について、3つのテーマを第一線で活躍している専門家が解説しました。

セミナーでは、谷口委員長から、「約9割の中小企業が何らかのリスクを認識しているにもかかわらず、実際に被害に遭った中小企業の約半数が「リスクへの備えが不足していた」と回答している。この機会に、「中小企業を取り巻くリスク」を認識いただき、リスク対策を理解して、経営環境の変化に備えてほしい。」との挨拶がありました。次いで、広島県中小企業診断協会 西村 英樹 前専務理事から挨拶がありました。

続いて、3つのテーマに関する講演が行われました。テーマ、講師、概要は次のとおりです。

1. 「BCP（事業継続計画）策定によるリスク対策」：
高原 寛氏（広島県 商工労働局イノベーション推進チーム中小・ベンチャー企業支援グループ 主任）
BCPの基礎的な知識や「使えるBCP」を策定するためのポイント等を解説。
2. 「リスク対策としての補助金の活用」：
伊藤 圭介氏（中小企業診断士）
さまざまな種類の補助金を効果的に経営に役立てることができるよう制度を理解するポイントを解説。
3. 「労務管理（パワハラ・セクハラ）にまつわるリスク対策」：
畑 雄太氏（弁護士）
労務管理の必要性が高まる中、法的な観点を踏まえたリスクマネジメントを理解するポイントを解説。

参加者からは、「BCPの必要性を理解できました。今後、会社内で計画策定をしようと思います」「補助金と助成金の違いを知ることができました。保険代理店としてお客様に県や市で出ている補助金について、情報提供していきます」「就業規則にハラスメント関連の項目を設けていますが、実際に起こった時を想定し、細かな対応手順などを見直す必要があると感じました」などの感想が寄せられました。

また、セミナー後に無料個別相談会を開催して、会場参加者の疑問に講師が回答しました。

当支部では、引き続き、広島県や広島県中小企業診断協会をはじめとした関係団体との連携を強化して、中小企業を取り巻くリスクに備える取組みを推進してまいります。



谷口委員長の開会挨拶



西村前専務理事の開会挨拶



広島県商工労働局・高原氏の講演



中小企業診断士・伊藤氏の講演



弁護士・畑氏の講演



広島県損害保険代理業協会・井手会長の閉会挨拶



会場の様子



無料個別相談会の様子